

Musashino University Smart Intelligence Center 紀要第5号：表紙,目次,執筆者一覧,編集後記,奥付

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: ja 出版者: Musashino University Smart Intelligence Center 公開日: 2024-03-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000193 |

Musashino University Smart Intelligence Center 紀要

第 5 号

2024 年 3 月

Musashino University Smart Intelligence Center 編

目次

ミニ特集：副専攻 AI 活用エキスパートコース完結

| | |
|-----------|---|
| 巻頭言 | 3 |
|-----------|---|

【特集論文】

| | |
|--|----|
| サービスデザインのアプローチを取り入れた武蔵野大学 AI 副専攻コースのコンセプトと実践 | 5 |
| 予測力の育成に向けた「データサイエンス活用」の取組..... | 33 |
| プロトタイプブラッシュアップサイクルを重視したサービスデザイン授業の学修効果 | 41 |
| ロボットを活用した課題解決型授業の設計とその実践..... | 54 |
| 人工知能実践プロジェクトの「AI ツールを用いたトレンド分析・サービス提案」というテーマについて | 69 |

【学生論文】

| | |
|---------------------------------------|----|
| 響学スパイラル評価のための会話場面に注目した教室環境分析の試み..... | 81 |
| レビュー分析によるヒットするゲーム要素の抽出および評価手法の検討..... | 91 |

【一般論文】

| | |
|---|-----|
| マルチターンで学生の問いを解決するプログラミング学習支援チャットボットの試作. | 101 |
| 非認知能力の育成に向けた「メディアリテラシー」の取組..... | 120 |
| その学問領域とは別の分野を専門として持つ受講者がメイン層である講義を行う際に講義者として心がけていること..... | 128 |

執筆者一覧（掲載順）

| | |
|--------|--|
| 林 浩一 | 武蔵野大学 MUSIC センター長／データサイエンス学部／教養教育リサーチセンター 教授 |
| 中村 太戯留 | 武蔵野大学 MUSIC／データサイエンス学部／教養教育リサーチセンター 准教授 |
| 岡田 龍太郎 | 武蔵野大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科 助教 |
| 田丸 恵理子 | 武蔵野大学 MUSIC センター員 |
| 渡邊 紀文 | 武蔵野大学 MUSIC／データサイエンス学部／教養教育リサーチセンター 准教授 |
| 宮田 真宏 | 武蔵野大学 MUSIC／データサイエンス学部／教養教育リサーチセンター 講師 |
| 朝倉 大樹 | 株式会社オレンジテラボ／武蔵野大学非常勤講師 |
| 勝山 隼斗 | 武蔵野大学 経済学部経済学科／副専攻（AI 活用エキスパートコース） |
| 進藤 匠 | 武蔵野大学 教育学部教育学科／副専攻（AI 活用エキスパートコース） |
| 白川 桃子 | 武蔵野大学 工学部数理工学科／副専攻（AI 活用エキスパートコース） |
| 上地 泰彰 | Forbital／武蔵野大学 非常勤嘱託職員 |
| 寺田 倫子 | 武蔵野大学 非常勤講師 |
| 鈴木 大助 | 武蔵野大学 非常勤講師 |
| 中山 義人 | 武蔵野大学 非常勤講師 |

MUSIC 紀要編集委員会

| | |
|-------|-----------------------|
| 編集委員長 | 林 浩一 |
| 編集委員 | 中村 太戯留， 渡邊 紀文， 田丸 恵理子 |

編集後記

『Musashino University Smart Intelligence Center 紀要』第5号をお届けいたします。本号では『副専攻 AI 活用エキスパートコース完結』というミニ特集を組みました。武蔵野大学では、2021年度に情報系の副専攻コースとして「AI 活用エキスパートコース」を立ち上げました。本コースは、データサイエンスやAIを活用して、様々な問題解決がおこなえる人材を育成することを目指しています。これからの学生は、AI化が進み、混沌とした社会に出ていかなければなりません。そのような状況下では、データサイエンスやAIを活用する力をつけることは文理を問わず必須なものとなっていくでしょう。

武蔵野大学では、他学に先んじてこれらの課題に取り組み、2023年9月に第1期生72名が修了しました。そこで本紀要では、本学におけるAI活用エキスパートコースの基本コンセプトや、コース設計や授業デザイン、授業実践を踏まえた成果など、実体験で得られた知見を広く共有すべきと考え、このような特集を組むこととしました。また本紀要では、学生の成果も取り上げております。正味2年間で学生がどのようなことに取り組み、どのようなアウトプットを出せるようになったのかもご覧ください。これらの知見が、これからAIやデータサイエンスの授業を導入したり、情報系の副専攻コースを立ち上げようとしている皆様方の一助になれば幸いです。

本紀要には、AI副専攻を管轄するMUSICのメンバーに加えて、日頃からAI副専攻コースの授業にご協力いただいている非常勤講師の先生方にも多数執筆をいただきました。心から感謝を申し上げます。（MUSIC 紀要編集委員会）

Musashino University Smart Intelligence Center 紀要（オンライン・ジャーナル）

発行日 2024年3月31日発行

ISSN 2435-5445

編集 武蔵野大学 MUSIC 紀要編集委員会

発行所 武蔵野大学 Musashino University Smart Intelligence Center

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20
